

令和6年度 地域研修(岡山県) 地域研修カリキュラム

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:10月15日(火)～11月12日(火) 視聴時間 受講必須:4.9時間 / 受講任意:4.4時間

: 基礎的な内容の単元 : 応用的な内容も含む単元 ● : 受講必須 ◇ : 受講任意

区分	単元		必須	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標	引用元(有明の丘) ／備考
受援体制と 受援計画、 制度を学ぶ	1	受援体制と受援計画の概要	●	災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制の構築および受援計画の作成について学ぶ。	15分	久保田 崇史 (内閣府)	・受援体制整備の必要性について説明できる。 ・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる。 ・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる。	R5 防災基礎 C1-8-1
	2	応急対策職員派遣制度等の概要	●	応急対策職員派遣制度等について学ぶ。	14分	佃 侑祐 (総務省 元応援派遣室)	・応急対策職員派遣制度の概要について説明できる。 ・総括支援チームの役割について説明できる。 ・応援職員の力を活かすために必要な体制について説明できる。	R5 防災基礎 C1-8-2
	3	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。	39分	豊泉 英明 (内閣府)	・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-3-1-1
			●		7分	原 章仁 (内閣府)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-1-2
			●		29分	伊藤 哲也 (総務省)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-2
			●		53分	田代 崇憲 (大野城市)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-3
受援の対象となる主な 業務の基本 を学ぶ	4	避難所の開設・運営の概要	●	避難所の開設・運営について学ぶ。	15分	伊藤 靖晃 (元 内閣府)	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。 ・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-1
	5	災害廃棄物処理の概要	●	災害廃棄物処理について学ぶ。	11分	鳥居 ほのか (環境省廃棄物対策課)	・災害廃棄物処理の概要について説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-2
	6	被害認定調査・罹災証明書の概要	●	被害認定調査・罹災証明書の発行について学ぶ。	6分	湯浅 翔 (内閣府)	・被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-3
	7	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	◇	救援物資の調達・輸配送の概要を学ぶ。	13分	影沼澤 稔 (内閣府)	・救援物資の調達・輸配送の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-6-4 追加を提案
	8	仮設住宅の供給の概要	●	仮設住宅の供給について学ぶ。	16分	阿部 嘉信 (内閣府)	・仮設住宅の供給の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-4
	9	インフラ復旧の概要	●	インフラ復旧の基本について学ぶ。	16分	細川 晋 (国交省水局防災課)	・災害復旧事業の概要を説明できる。 ・原形復旧と改良復旧の違いを説明できる。 ・地方公共団体の現状及び支援状況を説明できる。 ・デジタル技術の活用に関する取組状況を説明できる。	R5 防災基礎 C1-9-4 位置を変更＋必須に変更
	10	災害ケースマネジメントの概要	●	災害ケースマネジメントについて学ぶ。	15分	新井 大地 (元 内閣府)	・災害ケースマネジメントとはなにか、主要なポイントを説明できる。 ・災害ケースマネジメントの取組の大まかな流れを説明できる。 ・平時からどのような準備が必要か説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-5
国からの支 援を学ぶ	11	応急期の政府支援	◇	(本単元の概要説明)	4分	林 春男 (京都大学)	-	R5 対策立案 C8-5-1
			◇	緊急消防援助隊の活動を学ぶ。	9分	伊藤 学 (消防庁)	・災害応急期に実施される緊急消防援助隊の活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-2
			◇	警察災害派遣隊の活動を学ぶ。	12分	前田 竜吾 (警察庁)	・災害応急期に実施される警察災害派遣隊の活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-3
			◇	防衛省・自衛隊の災害派遣活動を学ぶ。	24分	竹内 一博 (防衛省)	・災害応急期に実施される防衛省・自衛隊の災害派遣活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-4
			◇	海上保安庁の活動を学ぶ。	17分	寄高 昭 (海上保安庁)	・災害応急期に実施される海上保安庁の活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-5
			◇	TEC-FORCEの活動を学ぶ。	18分	井上 清敬 (国土交通省)	・災害応急期に実施されるTEC-FORCEの活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-6
			◇	DMATの活動を学ぶ。	24分	近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT事務局)	・災害応急期に実施されるDMATの活動について説明できる。	R5 対策立案 C8-5-7
災害対応に 必要な制度 を学ぶ	12	被災者生活再建支援制度の概要	◇	被災者生活再建支援制度について学ぶ。	11分	宮下 浩平 (内閣府)	・被災者生活再建支援法と業務の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-9-1
	13	災害弔慰金・災害援護資金の概要	◇	災害弔慰金・災害援護資金について学ぶ。	14分	中村 俊介 (元 内閣府)	・災害弔慰金法と業務の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-9-2
	14	大規模災害からの復旧・復興の概要	◇	激甚災害制度、大規模災害からの復旧・復興について学ぶ。	19分	大畑 大志郎 岡村 政廣 (内閣府)	・激甚災害制度の概要が説明できる。 ・大規模災害からの復興に関する法律の概要が説明できる。	R5 防災基礎 C1-9-3
物資の調 達・輸配 送を学ぶ	15	救援物資の調達	◇	救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	37分	西室 幸徳 (コメリ災害対策センター)	・救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-5-1
	16	救援物資の輸配送	◇	救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。	31分	森下 侑里香 (佐川急便)	・救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-5-2
	17	救援物資ロジスティクス演習	◇	救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを学ぶ。	32分	内閣府 (防災デジタル・ 物資支援担当)	・救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-7
地域の 災害特性	18	地域の災害特性	●	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	60分	岡山地方気象台	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。	オンデマンド講義として追加

時間	単元		単元の概要	時間 (目安)	講師	学習目標
10:00 ～10:10	-	（オリエンテーション）		10分	（事務局）	
10:10 ～11:15	1	【講演】 事例から学ぶ受援の実態と課題	災害時の応援受援の実体験を踏まえた講演から、受援の実態と課題を学ぶ	65分	和田 大志 （熊本県）	・受援の実態や課題が説明できる。
11:15 ～11:50	2	【トークセッション】 受援の実態と課題のポイント	トークセッション形式で講演者である災害対応経験者の方と受援の理解を深める	35分	和田 大志 （熊本県） 木村 玲欧 （兵庫県立大学）	・受援のポイントが説明できる。
11:50 ～12:50	-	（昼休み）		60分		
12:50 ～14:20	3	【演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	応援の経験談を題材に、受援側の心構えや準備すべきことを学ぶ。	90分	瀧波 崇 （サイエンスクラフト） 木村 玲欧 （兵庫県立大学）	・受援側の心構えや準備すべきことを説明できる。
14:20 ～14:30	-	（休憩）		10分		
14:30 ～16:00	4	【演習】 受援業務における初動対応演習	発災後3日目～1週間までの期間に受援業務として想定すべきこと、準備すべきことを演習を通して学ぶ。	90分	元谷 豊 （サイエンスクラフト） 木村 玲欧 （兵庫県立大学）	・応援要請や応援受入れ時の市町村の役割を理解できる。 ・市町村による応援要請における県の役割を理解できる。
16:00 ～16:50	5	【演習】 全体討論(ふりかえり)	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。	50分	事務局 木村 玲欧 （兵庫県立大学）	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。
16:50 ～17:00	-	（閉講）		10分	（事務局）	